

「あらかわの心」ニュース



第12号 平成23年3月10日発行

〔発行〕「あらかわの心」推進運動区民委員会

〔事務局〕〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3 荒川区子育て支援部児童青少年課内 TEL 3802-3111 内線 3833 FAX 3802-0809

〔メールアドレス〕 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 〔ホームページアドレス〕 http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/index.html

第60回

「社会を明るくする運動」 作文コンテスト

平成23年1月5日、東京保護観察所において、第60回「社会を明るくする運動」作文コンテストの表彰式が行われました。

応募作品4938作品の中から、荒川区内の小中学生4名の作品が優

秀賞と佳作に選ばれました。その

ほか、奨励賞（東京保護観察所長

感謝状）を第四峡田小学校と第三

瑞光小学校が受賞しました。

なお、これで荒川区からは5年

連続の優秀賞と佳作の受賞となり

ました。

受賞作品につきましては、区ホ

ームページ（子育て応援サイト）

に掲載しておりますので、ぜひご



▲左 中西末桜さん、中央 西川区長、右 中山瑠菜さん



（東京都推進委員会委員長賞）

〈中学生の部〉

第七中学校2年

中西 末桜さん

「祖母のおせっかい」



（東京保護観察所長賞）

〈小学生の部〉

瑞光小学校5年

中山 瑠菜さん

「明るい社会」



〈小学生の部〉

第三日暮里小学校6年

能美 勇吹さん

「あいさつができる社会」

第四峡田小学校5年

田村 優里さん

「家族と地域の人のつながり」



（東京保護観察所長感謝状）

第四峡田小学校

第三瑞光小学校

「あらかわの心」

PR寸劇（カルタ編）を保育園で初披露

平成22年12月13日に南千住八丁目にある「汐入とちのき保育園」遊戯室で「あらかわの心」PR寸劇（カルタ編）を上演しました。

寸劇の劇団員と小道具が到着すると、園児たちは興味しんしん、ソワソワしていました。遊戯室の奥の方で団員の十分間のリハーサルが始めると、窓に張り付くように見ている園児もいました。

いよいよ開演十分前、2歳児から5歳児の園児がぞくぞくと入場。始めは友達同士の話で騒々しかったですが、園長先生の一言でみんなシーンと静かになり、寸劇が始まるとみんな真剣な顔つきで、良い人、悪い人を劇の中の呼びかけに的確に答えて「あらかわの心」を感じてくれました。

「荒川家の朝ごはん」は園児たちも歌い



▲みんなで「荒川家の朝ごはん」を大合唱

今年もやりました！ 第2回「あらかわの心」カルタ大会

平成23年2月5日、昨年の第1回に続き、町屋ひろば館・体育室において第2回「あらかわの心」カルタ大会を開催しました。

「あらかわの心」推進運動区民委員会が作成したカルタを使ったカルタ大会は、今年も大いに盛り上がり、当日は、未就学児（小学校に入学する前のお子さん）の部、小学校低学年（1年から3年生）の部、小学校高学年（4年から6年生）の部に分かれ、44名の参加者が熱戦を繰り広げました。

カルタ大会を通して、子どもたちが「あらかわの心」推進運動の取り組みに、積極的にかわかり、もっとたくさん「あらかわの心」を広めていって欲しいと思います。



▲真剣勝負中です



▲とても大きな会場でした（町屋ひろば館）

*各部の優勝者は以下のとおりです。

〈未就学児の部〉

阿部 陽菜さん（汐入こども園）

〈小学校低学年（1年から3年生）の部〉

小林 和奈さん（第七峡田小2年）

〈小学校高学年（4年から6年生）の部〉

溝渕 実果さん（尾久宮前小4年）

第三日暮里小学校

「交通安全優良学校」受賞

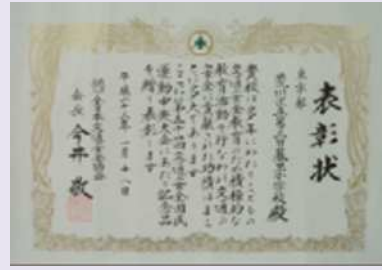
平成23年1月18日に日比谷公会堂で開催された「第51回交通安全国民運動中央大会」において、第三日暮里小学校が交通安全優良校として表彰されました。今年度は、全国の保育園から高等学校の中より49校が選ばれました。

歴代校長先生をはじめとするこれまでの学校全体の交通安全教育の取り組みと交通事故防止への功績が認められたのですが、地域の方々の児童への交通安全対策と見守りがあってのこそその受賞です。厚くお礼申し上げます。今後とも、地域の方々の協力をいただきながら、改めて児童の交通安全

教育の充実を図って参りたいと思います。

(第三日暮里小学校長

伊津 壽美)



▲表彰状

「第9回 荒川区高年者芸能大会」

平成22年10月22日、NPO法人荒川区高年者クラブ連合会主催による、第9回荒川区高年者芸能大会が、サンパール荒川大ホールにて行われました。

72の団体が、歌、合唱、踊り、フラダンス、大正琴など日ごろの練習の成果を競い合いました。

日ごろの精進の賜物で、素人離れた演技で、1480人余の観衆から盛大な拍手を受けました。

荒川区高年者クラブではこのほかにカラオケ大会(2月)、輪投げ大会(3月)、研修旅行(7月)、運動会(9月)、ベタンク大会(10月)、グランドゴルフ(10月)、施設見学会(11月)などさまざまな活動をしております。そのほかに各支部・単一クラブでもいろいろな活動しております。どうか皆様も、



▲荒川区高年者芸能大会

荒川区高年者クラブに入会し、友人の輪を広げ、健康で、楽しい日常生活を送りませんか。皆様の入会をお待ちしております。

(荒川区高年者クラブ連合会

事務局長 長谷川 敏男)

「尾久交通少年団餅つき大会」

平成22年12月12日、尾久警察署署庭において、尾久交通少年団餅つき大会が開催されました。交通安全協会の役員さんや警察署の皆さんも参加し、子ども達とお餅をつきました。お相撲さんも応援に駆けつけ、大きな体で軽々と杵を持ち上げ、お餅をつきあげました。

つきたてのお餅は、お母さん方が、あんこやきなこのからみ餅にし、皆さん美味しく頂きました。尾久交通少年団は春・秋の交通安全運動はもちろんのこと、一年を通じて交通安全の啓発活動を行っています。子ども頃からボランティア活動に参加することは大きな意義があり、大人になっても社

会のために諸活動をする事でしよう。将来が楽しみですね。(西尾久東町会会長 渡辺 康一)



▲尾久交通少年団もちつき大会

「新春風あげ大会」

平成23年1月16日、南千住地区委員会恒例の風あげ大会を実施しました。

228名の参加者と61名の従事者が荒川総合スポーツセンターに集い、小体育館でたこ作りをし、焼きそばと豚汁の昼食を済ませ、野球場で風をあげました。



▲たこ作り中

寒い日でしたが晴天に恵まれ、絶好の風も吹く中、親子で協力しながら大空高く風をあげる姿に、この行事を毎年続けることの大切さを改めて感じた次第です。

(青少年対策南千住地区委員会 越村 桂子)



▲きれいに風があがりました

「百人一首たいけん会」

平成23年1月23日に第四中学校図書室において、「百人一首たいけん会」(荒川区青少年連絡会荒川・町屋ブロック合同行事)が開催されました。峡田地区の小学生32名と保護者の方々、第四中学校のボランティア12名が参加しました。

子供チーム5、大人チーム1の計6チームに分かれ、「大陸別札取り合戦」、「坊主めぐり」、「百人一首deヘキサゴン」の3つの競技を行い、百人一首を初めてやる子どもたちも必ず札を取ることができ楽しむことができました。上手な子どもが慣れていない子どもを助ける「お助けマンカード」など、チームごとに作戦を考えながら、仲良く百人一首の体験ができたこ



▲楽しく百人一首をやりました

とと思います。また、四中の中学生ボランティアが小学生の面倒をみている姿がほほえましく、異年齢の交流ができたことがとても良かったと思いました。(青少年連絡会 高本 由美子)

「レインボー子ども会」

平成22年12月25日、尾久第六小学校・ランチルームにて、昨年度に引き続き2回目の虹のかけはしクリスマスプランという(クリスマス会と、子どもとお年寄りとの関わりをテーマにコラボする)活動を企画いたしました。今回は、高年者クラブのお年よりに会場まで足を運んでいただきました。子ども達は自分達のテーブルに、お年よりのお客様を迎え、まるで本当のおじいちゃん、おばあちゃんのように、仲良く一緒に、お正月飾りを作成する姿は、うれしそうに笑顔がほころび、とてもあたたかい雰囲気になりました。ランチタイムでは、お話をしながら和やかなひと時を

過ごし、その後は「あらかわの心」カルタ大会をして遊び、最後にクリスマスソングを合唱しました。レインボー子ども会の行事は、どなたでも参加できます。みなさんのご参加をお待ちしています。(レインボー子ども会 大場 知子)



▲お正月飾りがきれいにできました